

# 菓子木型のデータ化から NC切削機械による木型作成

菓子意匠をデジタルデータ化し、そのデータより木型を作成します。

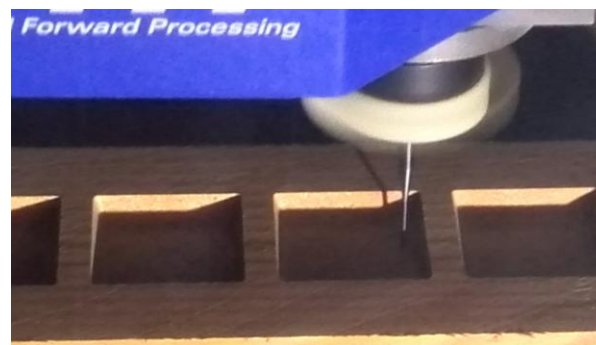
## NC 切削機械による和菓子木型のご案内

不易流行の言葉通り伝えるべき伝統と進歩する技術をと共に求めていかなければならないのは、どの業界でも同じです。菓子木型も伝統を継承し尚且つデータ化・NC 切削機械の活用等は選択肢の一つだと言えます。

‘菓子木型のデータ化’での3DCAD/CGの利用は正確・精密性、応用性が今までの木型では出来なかった事であり、3DCAD/CGデータを忠実に再現するNC 切削機械での木型作成は新しい菓子意匠の可能性の追求でもあります。(※CAD:コンピュータによる支援設計、CG:コンピュータグラフィック)

## NC 切削機械による菓子木型のメリット

木型は木型職人の手で作られてきました。人の手は現代の進化した機械でも、まねのできない内容も多々あります。反対にNC 切削機械による木型は手仕事ではできないことが多々あります。下表にまとめてみました。



	データ化・NC 切削機械による彫刻	木型職人による彫刻
基本	コンピュータによる3Dデザインでは正確でキッチリした平面・曲面ができ、また有機的なデザインも使用ソフトにより可能となります。	手仕事の為、細かな表現ができます。機械加工にできない勢いや「趣」等表現できます。
刃	彫刻は刃がデータ通りに動き木を彫っていきます。菓子木型の場合、回転刃は直径10mm~0.4mmまでを使用します。刃が違う所を彫ったりすることはありません。	手仕事の為、刃が深く入ったり、違うところに入った彫跡に菓子が引っ掛かり抜けにくい場合があります。
作成	彫る前に何度でもデータ上で確認ができ、修正も可能です。モデル作成(切削モデル・3Dプリンターモデル)も可能です。当社では透明アクリル板に彫刻し彫刻面と反対面の両面から確認することが可能です。	紙粘土や陶器などのモデルから木型を作成する場合、モデルと違ったものが出てくる場合があります。また修正が出来なく作り直しの場合があります。特に表情のあるものなどは難しい。
	2枚型の上型の再発注でもデータ通り下型とぴったり合います。	2枚型の上型は歪みやすいので上型のみ発注しても若干下型とずれる場合があります。
	直角に近い彫りや完全球形彫りなども可能で繰り返し模様・幾何学模様などは手仕事では出来ない彫刻ができます。	勢いのある筋彫り角彫りができ、趣があります。球状の凹みを彫ることや深く直角に近い彫りが不得手。
応用	同一データでいくつでも同じものができます。拡大縮小が自在。作成した木型を少し大きくしたい。千鳥を1羽から3羽にしたい。配置換えしたい等簡単に作成できます。	5面取なら5面とも少しずつ違う。(まったく同じものは出来ません。)
保管活用	データを作成すると和菓子木型はもちろんアクリル彫刻・看板他、販促物との連動が可能です。	基本的に一からの作業となり、拡大縮小等できますが労力は最初から作成するものと同じで、完成品は少しずつ異なります。
	代々伝わる木型を3Dスキャナーでスキャンしてデータ化します。多少の修正を加えてデータ完了です。データで保管するので複製・応用ができます。”アーカイヴ化”	代々伝わる木型は貴重品です。ひびや割れができて使用出来ないものも多々あります。それを忠実に複製することは手仕事では難しいです。



鋭角な深彫り模様



球状カーブは機械彫りの得手

機械刃は最小直径0.4mm



通常木型では見えない面

彫り側(彫り具合を評価)

LEDを照らして光らす



NC機械彫り

手彫り